

バストス週報

二百四十五号
昭和廿九年
十二月十九日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS
188
C. P. 112
BASTOS
誌代
80#

文化バストスの裏街道 2

移動座談会つゞき

貸借関係つゞき

司会「銀行から多額にマイナスのある人はその人だけですか」
 角「外の事はよく知らんが、僕の知人の方は吹本さんに迷惑をかけた人ようにインドッサンで解決するようにならなかつた。何しろ一切の貸借は世界政府が整理してくれると公言するんだから始末がわるいよ」

本田「SD君の場合借組をやっているだけに組合からの借りが大きいんだ。百コントを返えるだろう。俺は彼をバラスト更新の中堅層として極力組合へ掛りつけて金を引出してやうな関係上司込みがつかん。SD君とあの晩二時連暴つた合してその非を攻めたんだが金の迷惑はかけんというんだ。仕事中止して退去してしまへば迷惑か、るじやないかと言うと、未だ達は力があるから心配ないと言へる。一かし考へて見る。今までの三野分の仕事を少年上りの弟の一人や二人やせれるものかどうか。俺は最後にこういっただ。よし、そんなに行きたければ行け。しかし行つて来てよと。俺はまけたよ」

△「畑中忠雄さんには必分できるものもある。万が一の場合には必分できるものもあるから丸損するようにならぬものはある。おいという話だった」

○「カスカツタ区の方では五鈴の蚕を上り際で捨てていった人もあるといひやないか」

石橋「足もとから鳥がたつという感動だがよく皆思ひ切つて一糸乱れも行動したわ」

可愛そうな娘と病人

司会「日本へ帰つたら、其ははりちゃんが見られるからつて、おんでいた十八娘も居た相だ」

本田「そんな低脳は別だが僕の知つていゝ娘は僕の娘とアミミがなんだ。パイ何とかがいて助けてやる途はないか。というんだ。遠いA市に愛人が居るとか、クルフでお別れに行つたんだよ。下ッヘ」

福の神のホリニア
 どなた様にも差上げます
 おいで下さい
 皆様の マルヤマ洋服店
 R. Pres VARGAS 268

お正月のパーマは
 只今なさいまして拾ど
 よいおかげんです

アメリカン・ワールド
 キミカ・フリーアー
 等最高の技術で
 五派に
 お仕上げ致します



Permanente Wewe
 Salão Yoshiko Toda

美容院
 戸田よし子

石橋「二人で逃げ出すとは新派劇で僕の一方の材料になるんだがナ」

本田「アアそこだ、助ける途といへばそれしか無い。だが男に勇気がなかつたそんなナモトはプリンガにやつたことなんだからといつたとか」

角「そりやたまらんね、プリンガにそういふことをやうれば娘もつ身は警戒せざるを得ないね」

本田「送く帰つて来て送く親に引がられて行つてしまふ。可愛そうな娘も納も納つたアレはどうかしらね、結構いかに」

△「許嫁だったアレはどうかしらね、結構いかに」

○「親は行ってしまったが本人は残つていゝ、一休子供の幸福道やせいにするてのは、どんな気持ちかね、まるお鬼だ」

4頁へつゞく

青年劇上演について御挨拶

私共聯青が中心となり各區青年團と相呼應して、青年演劇會
 という程の事をやってみ度いと予ねて計畫を樹てて居りましたが、機
 未だ熟せず、種々の都合で実現を見るに到りませんでした。ところ
 が、こゝと極く軽い氣持、即ち一種のレクリエーション程度の試みで
 聯青幹部の者だけで「農村劇」をやってみようという相談がまとも
 になりました。此の道のペテラーノ、バストス劇団の方々やヒバリ楽団の方が
 應援をして下さることとなり、別稿廣告の如く来る正月二日及三日
 の両日バストス産業會館で公演という大それた事になってしまいました。
 た。劇の内容は現コロニヤを題材として、新旧思潮の葛藤を描こうとし
 たものであります。が、技未熟にして、充分の表現は到底期し得ません。
 「植民劇」と銘打って皆様に御披露申上げの運びとなりました。勿
 論皆様の御期待に添ひ得るものではありませんが、同熱演の決意を固
 めて居ります。

應援をして下さるバストス劇団の皆様御馴染みの腕達者、興味津々たる
 時代劇を以て、青年劇の足らぬ処を充分補って皆様を慰ましたる身
 で御座いましょう。何卒御期待願上ります。

又ヒバリ楽団の方々は、青年劇全一幕を通じて音楽を受持って下
 さるばかりでなく、幕間を巧みに利用して、輕音楽や歌手の出演にも
 世話をされ、錦上更に花を添える企圖があります。

前述のように私共青年にとつては初課の大仕事であります。芝居に經
 験のある、身同筋の方々の御協力がなくては到底至難と存じます。是
 非御協力下さる様、失礼乍ら茲に改めて御願申上げ次第です。

最後に「是非やってみよう」と御力添を賜はり「後援」御承諾下さった連合日
 本人会に對して満腔の謝意を表するもので御座います。
 追つて本公演の上つた利益金は、聯青基金に充當致します。

バストス聯合青年團 敬白

各位

左記の方々に 部署 担当 御願 申 上げ ます

- | | | | |
|---------|-----------|-------------|--------|
| 木 (拍子木) | 山 振 氏 | 舞台装置 | 貝田氏外四名 |
| 幕 | 湯 井 氏 | 場内整理 | 各支部長より |
| 照 明 | 古 谷 氏 | 木 戸 | 各支部より |
| 化 粧 | 眞 野 氏 | 舞台指揮及アナウンサー | 本 田 氏 |
| 着 附 | 島 本 丈 人 氏 | 其 他 | |
| 音 楽 | ヒバリ楽団 | | |

お正月の催し 演劇と歌乃夕

若き青年男女が初めて演ずる。コロシアムを背景とした植民劇！

さて如何なるお芝居でしょう？
どんな題材を盛った芝居でしょう？

植民劇 ある日曜日の夜の出来事

（全 貳 幕）

作者のことは
移民使も五十年になるともうその自分達の生活臭もわからぬにじみ出た演劇が生れてもいと思つて試作の意味で書いて見ました。是れはあく迄劇の脚本であつて別にモデルがあつて書いたものではないと言ふことを附記しておきます。（島木生）

音楽と哥の数々
シバシバり楽團出演

まった坊狂言と致しましては

バストス劇団總出演になる

時代劇 旗本赤心慕陣

（全五幕）

期日 一九五五年一月二日及三日（両日とも午後七時開場）

会場 バストス産業會館

入場料 大人十五針 小供十針

敬 老の意味で全バストス在任七十歳以上のお年寄には招待券を
差上げます（各区青年團の手を通じ）
但し青年團の無い区は区役員の方に御願ひします。至急御しらべの上、聯青（西又は戸田）迄御連絡下さい。
此の催しの利益金は聯合青年團の基金積立となりませす。御諒承下さい

主催 バストス聯合青年團

応援 バストス劇團

ヒバリ楽團

後援 バストス連合日本人會

一頁より(座談会ついで)
○「半身不随の老人で泣きくつれて中か
れたのがある」

△「ヘソの緒の切れてない嬰兒を抱いてい
った人もある」

角藤「全く悲惨です、私は彼らの出發
を見送ってイアクリ進出したが、皆半
刻な顔をして押し込まれていった、何と
もいえない憂うつな気持ちだった」

下「萬歳々々の声でイアクリ駄頭は湧き
立つばかりでありました」

角藤「馬鹿なことを、誰がそんなことを
いいました」

校ひの手をのほす可さや
司会「何の爲めに大挙して出聖したかと言
う結論は見出せません、あ、手際よく
行動したうらに脅迫の手はなかつたで
すか」

△「名だめすかして、つれ帰って見たとこ
ろで、どうせ更生せん以上重荷になるは
かりだろう」

D「家族がかわい相です、家族だけでも
つれて帰れないかな」

角藤「私は時期尚早と思ふ、やはり行く
ところ遠いかねはだめです」

司会「もし救いの手をのほすとすれば、個
人的にしようか、日本人会という名の
もとにですか」

△「個人的にしても将来出かける人がない
とは言はれぬ」

△「どうか、行くなら日本人会から派遣
されて行かないと工合わるからう」

□「ムツカしい問題だ、重道さん引受る
かね」

重道「やはり時期があるだろうね、一
行ったばかりの処へ追っかけていつて
も向うの鼻いさが荒かろう」

司会「色々ありますが、この辺で一応切
り上げて、又あと日あとのことだ、食
料のある間は手がつくまい、その内行
ニユースがあったらしらせて下さい」

おわり

パウロ森の歌行脚

有るなテナー、パウロ森が
バストスへ参ります

期日 十二月二十二日午後八時
場所 シネマ館

第一の場合 産業会館に変更
することあるべし

入場料 特別招待券 五〇円
普通大人 一五円
小人 一〇円

主催 パウロ森 後援 會
後援 ヒバリ 樂 団

のど自慢でないほ人とうの
聲 樂 を おきき下さい

コロニアの主人を
本格的な声樂家
パウロ森の公演

パール 白須を引受けました

山内武彦 共營

平井敏夫

パールとソルベタリア

皆さんのごいさきによって
感じのよい
休憩所といたします

御たちより下さい

脱殺部
白須 克 治

脱殺部
白須 克 治

バストス二十五年史

後援者の皆様へ御しらせ

バストス在住の皆様のご熱心なる御後援により、私たちの御史「バストス二十五年史」は日々完成に向って著述しつゝ、お

ります。予定通り来春六月までには後援者の皆様の御手許にお届けすべく脱稿を急いで居ります。就きまゝでは、本史の人物紹介欄に一ページまたは半ページを予約して下さった方々で、また写真をおとりになつていな

つていな

水野昌之

Casa Sugui



男用装身具

ワイシャツ・カミィカ・帽子
シント・グラバック・メイア

最新柄の洋服・大物

御贈答に手頃のシツキな品が沢山

取揃えてあります。中より下さい

エビス會福引券道呈

杉商店

Rr. Adhemar de Barros, 267 Esquina

Conville

A Primeira Turma dos Contadores da "Escola Tecnica de Comercio São José" de Bastos, tem a grata satisfação de convidar v. s. e Grma Família para assistir, num ás solenidades de sua formatura, a se realizar no Salão ao Line Bandeirantes, no dia 21 de Dezembro próximo, terça-feira, ás 20 horas. Contando com a honrosa presença, antecipadamente agra decce.

サンジョセ 高等商業学校卒業式へ

御招待 申上げます

来る十二月二十一日、サンジョセ高等商業学校の最初の卒業生四名の卒業式を午後八時より、シネパネランテスの大石間を挙行いたしますから、どうも定刻迄に御来場下さる様御招待申上げます

- 校長 フレイ シスト セウベル
- 教授 パウロ ヒラユキ 小林
- パウロ シドリオン テアレナール
- パウロ セイジ 座長 味
- アルシノ エウラ カンポス

- 池木 湯谷 春 姓
- 内村 有者 吾
- 米鈴 美

当日行事
午前八時 バストスイグレージヤにて感謝のミサ
午後八時 シネパネランテスにて卒業証書授与式
感謝文朗読 池内米君
午後九時(?) サントスの音楽家
フランシスコB フェーリー氏
提琴・獨唱・音楽會

市内主なる御先へは葡文招待状を差上げて居りますが、前記の通りサロンは多数の人数を収容出来ませんので、随時定刻迄に御入場下さつて下さるうござります。バストス現地の学校から生れた最初の「會計士」の多幸を祝賀し、彼らを養成した教授並に学校当局の前途の益々隆盛をうんことを祈念して皆探と共に良き一夜を過ごしたいと存じます。

會葬御礼

四男 徳治(七歳)儀去る十二月九日
十二時半学校帰途自動車事故のため
重傷を蒙り直ちに入院せしめ危急の
手を盡しました。及ばず死亡致しま
した。依つて十日午後三時バストス
墓地に埋葬致しましたことを謹告申
上ります。

當日は特にスルツポ校長の御厚意に
て校内で告別式をして頂き、多数の方
々の御参列を得まして感激の外御座
いません。折悪しく悪天候となり御
遠路御会葬下さった皆様にも重ね
御迷惑をかけました。その上花輪及
多大の御香奠を御供へ下さり御芳
志の段厚く御礼申上げます。
一々参上御礼申述べ可きですが取込
中失礼下ら紙上を以て御挨拶に代え
る次第で御座います。
一九五四年十二月十二日
ウニオン工區 敬具

- 各 位
- 親戚 味野 謹子
 - 父 三 鼓 梅 夫
 - 母 三 鼓 ます子
 - 高平 義光
 - 横田 茂吉
 - 三鼓 本
 - 岡本 一

Agradecimento

Pela solidariedade que mereceu de todos o lastimável desastre ocorrido na seção União I, no dia 10 do corrente, em que perderam a vida duas inocentes crianças, apresentamos a nossa profunda gratidão.
No Grupo Escolar local, o Exmo. Sr. Diretor, Valis Marques, prestou especialmente uma cerimonia de despedida, num gesto tocante de pêsames.

A Camara Municipal local decretou que as portas das Casas comerciais se encerrassem, imbuída no alto sentimento de condolência, por duas mortes havidas de maneira tão imprevisível e pungente como jamais houve nesta cidade.

Em nome desta Seção, subscrevemo-nos reconhecidamente.

12 de Dezembro de 1954
P. Seção União I
Shiqueya Oki

謝 辞

去る十二月十日當区に於て突發致し
ました自動車事故に關しては
痛く皆様の御同情を蒙り感謝に堪え
ませぬ。
可憐な少年の柩を同時に二つも野辺
に送るといふ事件は未曾有の悲惨事
とて、スルツポ校では校長先生の特別
な御厚意によって、立派な告別式を執
行され、市会では急遽市中へ喪を發
し送葬時刻存座を鎮めて哀悼の意を
表されるなど誠に行き届いた措置を
講せられました。

又他区よりは区長さんを代理として
御弔詞を頂き御会葬を賜はり誠に御
厚志の程、遺族の方々も嘆満足せら
れ感泣されたと存じます。
茲に一同に代り大方の各位に対し謹
んで御礼申上げらる次第で御座います。
一九五四年十二月十二日
ウニオン工區

- 各 位
- 代表 隠岐重彌

左記前文付遺族ウニオン工區長の署名を個人側へ送らる為の意訳したものを

會葬御礼

八男 勇(十歳)儀、去る十二月九日
十二時半自動車事故の爲め即死し翌
十日午後三時バスト又墓地へ埋葬い
たしました。

此の日クルツボ校バリーヨ先生の御
計らいにて同校内に於て告別式執行
の際には多数辱知各位並に学友諸兄の
御参列を忝うし且つ御香奉供物を頂
戴致しありがたく御礼申上申す。
尚埋葬の時刻には折悪しく大雨とな
り御会葬下さった方々、いたく御難
儀を掛け誠に御氣の毒で御座いまし
た。
茲に謹んで御芳志を感謝し併而會葬
御礼の御挨拶申上申す。 敬具
一九五四年十二月十二日

ウニオン工區

- 父 小倉 一三男
- 母 ヲル工
- 長男(兄) 殺
- 妻 フミ子
- 次男 杉 丈
- 妻 フニ工
- 親戚 桑 元 貞 生
- 代表 森 下 政 吉
- 友人 磯 谷 茂 工 門
- 代表

卒業式

バスト高専卒業学校では本年はじめて
四名の卒業生を世に送ることとなった。
卒業式は去る十二月二十一日午後八時よ
リシホで館で行われ、余興として提琴、ピ
アノ等の演奏会が催される。

去る九月の自動車事故で頭部に強打を
受けて一時危ぶれた殺田少年は幸に快方
に回復し、三日後退院した。その他二十余
名の内十四名は擦過傷、打撲傷など、負傷
の重かった。小倉氏方は一子を失った
上責任を感じ懊惱され、居り、及って附
近の同情を受けて居る由。

御記

去る十二月九日小生方カニオンに小
学校生徒廿数名を同乗せしめ、帰宅の途
中、運転事故を起しました。
その為の小生の八男、勇も即死を遂げ
ました。が、近隣三数様御子息を亡くしに到
りしめ、其他多数の重軽傷者を出し御象
族方に何と御詫言申上ぐ可きか、殆んど
呆然自失の態で御座いました。
運転事故を起しましたのは愚息にはあ
りませんが責任は一に不肖私の負う可きも
のにて深く、自責の念に撃たれて居り
ます。

事後の措置に就ては聯合日本人会に御
一任申上げ、然る可く裁きを受けざる覚悟
では御座います。が、何程御叱責を受けまし
ても過誤を償ふ途なく且つ各位より御慰
撫の御言葉を頂き、家族一同共々恐縮謹
慎致して居る次第で御座います。

此の事件にて大方の各位に多少の御配
慮を相煩はし、御迷惑を御かけ致しまし
たことを只管御詫言申上げらるのみで御座
います。

何卒々々御寛し下さいませよう。取敢
えず、紙上を以て御詫言の辞申述べます。
一九五四年十二月十二日

ウニオン工區 二組

小倉 一三男

ウニオン工區 各位
並に 各位

オホストレ 其後

去る九月の自動車事故で頭部に強打を
受けて一時危ぶれた殺田少年は幸に快方
に回復し、三日後退院した。その他二十余
名の内十四名は擦過傷、打撲傷など、負傷
の重かった。小倉氏方は一子を失った
上責任を感じ懊惱され、居り、及って附
近の同情を受けて居る由。

釣魚大會雜景

○二十キロのランバリンを釣り落す人
 ○五キロのドラードに引きこまれ
 抜き手をききつて追かけた話

一九五四年十二月十二日。此の天気曇天
 なれども鼓動高し。カミニニヨン三艘に分
 乘した水兵帽の太公望七十數名午前五時
 朝風に釣竿を号と張って市街地出發、一
 路ウジノカユワリへ着進し一時同たし
 到着したが、大急ぎで足場を探すもの
 得意の釣場へ去ってゆく者、竿をしごい
 て同姓の花火の上るのを今やおそしと待
 ち受けている。まむ七時五分前である。
 「誰か竿をおろした奴けし」
 「竿じゃぬい、手かい」
 「手でもいかん。足を水に入れちいかん」
 「用きたいていらんた、足じゃないや」
 「ふといす。足見たいだ」
 「やがて待
 ちにまった手前正七時、開始の花火は朝
 空高く轟然と鳴りひびき、川下のマツト
 へこたまゝてゆく。さつきから武者振ひ
 けて待ちかまえた連中、腰間の竹光抜ち
 放ち、いや愛竿を斜にかまえて魚に挑む。
 数頭河岸にひつしり並んだ釣師の構への
 美事さ、養蚕一刀流、柳生流、水月流と
 それぞれ得意の秘術をつくして、釣り上
 へる。銀鱗朝日に躍っては快まこと
 に筆紙につくしがたい。

十キロを下るまいと思はれる大ドラ
 ドをいなしたりすかしたり、マツと手汗へ
 引きよせた所、外へて一また長閑さん
 ウィム無念！とばかり唇をかみしめる。
 隣近入って釣っているのどうしたんだ
 ときけばサルマツが流れてしまつたとい
 う。我夢中の人も居つた。
 かくて午後四時、釣閉止のラッパ(花火)が
 なり渡り、九時同水ものま、煙草もす
 わず、孤軍奮闘した甲斐あって、釣も釣
 たり、四百九キロといふ未曾有の大戦果
 を上げ、凱歌を上げて帰路についた。
 ではこれから戦績を発表します。まじ
 上げたら前へ出て賞品を受取つて下さい
 ○ドラードの部
 一等 マルコス、ペレス 四十七キロ 五百瓦
 二等 古田義招 二十七キロ 八百瓦
 三等 佐藤勇 二十一キロ 八百瓦
 四等 田中園雄 十八キロ 五百瓦
 五等 栗栖 十七キロ 五百瓦
 ○ピア、細江、森 八キロ 五百瓦
 一等 細江 七キロ 九百瓦
 二等 森 七キロ 九百瓦
 三等 古谷 七キロ 九百瓦
 四等 古谷 七キロ 九百瓦
 五等 稲垣芳雄 三キロ 二百瓦

○ランバリンの部

| | | | |
|----|------|-------|-----|
| 二等 | 友谷千丸 | 二十三キロ | 百瓦 |
| 二等 | イト | 十七キロ | 四百瓦 |
| 三等 | 湯原有吉 | 十五キロ | 七百瓦 |
| 四等 | 西川誠一 | 十五キロ | 二百瓦 |
| 五等 | 柳浦省三 | 十四キロ | 四百瓦 |

○ウジノカユワリ部

| | | | |
|----|------|-----|-----|
| 一等 | 西野仲藏 | 四キロ | 九百瓦 |
| 二等 | ジツト | 三キロ | 二百瓦 |
| 三等 | 丸山 務 | 二キロ | 八百瓦 |
| 四等 | 杉 重登 | 一キロ | 八百瓦 |
| 五等 | 中城 柱 | 一キロ | 六百瓦 |

計 入賞部 二四五キロ 百瓦
 図外計 一六三キロ 九百瓦
 合計 四〇九キロ

森谷氏寄贈釣竿当籤者
 1. アントニオ 國廣 2. 細紅 藤 3. 丸山 秀雄
 4. 杉 輝 雄 5. 杉 藤 分 6. 柳浦 省三
 7. 村崎 ジュウリョウ の 諸 兄
 特別賞、尻から五番目賞、山中養治及ジツト、
 ビリから十番賞、藤原万太郎、十五番賞、ア
 ニオ 國弘、特大賞、マルコス、バケレサ、お賞、細江 藤

○釣魚大會へ賞品寄贈者芳名

| | |
|-------------------------|------------------|
| 早川 靴店 様 | カルトリオ、シエルト、ダギ 様 |
| 丸山 秀雄 様 | コレトリア 手 様 |
| 佐藤 勇 様 | カトヘルナ、カナ、フランシス 様 |
| 藤原金物店 様 | 杉 吳服店 様 |
| パール古田 様 | 梶田 商店 様 |
| マルコス、ペレス 様 | 菊池、パナリア 様 |
| 磯 森 様 | 東ジャヤ、イ 様 |
| 太郎日商店 様 | 山中 養治 様 |
| 前山商店 様 | 丸山 洋服店 様 |
| パール水口 様 | 杉 輝 雄 様 |
| バカルキン 様 | 西川 薬局 様 |
| オスニ、ア、能見 様 | 重道 商店 様 |
| 古田製菓店 様 | バカル、宇 越 様 |
| 上ヶ島商店 様 | 古田 眞英 様 |
| 杉オスニ 様 | 森谷釣竿製作所 様 |
| 沢山の商品(賞品) 御寄贈ありがとうございます | |
| バストス、アマノール 釣師 一同 | |

O Estado S. Paulo

大型新聞は(オ・エストリド)読後
 養蚕用数紙として重宝がられ
 古新聞より安くつきます
 「一石二鳥」
 とはこのことです
 十二月末、今年分アナナツラがゆれます
 から至急継続申込み下さい

守 越 悟

毎度ありがとうございます

愈々年末も押し迫って参りました
バザールキングは

年末贈答品一切大量入荷致しました
 必ず皆様の御氣に召す品がございます

贈答品案内

陶器類

- ジョーゴテ シヤ
- ジョーゴテ カフェ
- 日本式茶器
- コンホテイラ
- ジョーゴテ パーロ
- アマゾ

硝子製品

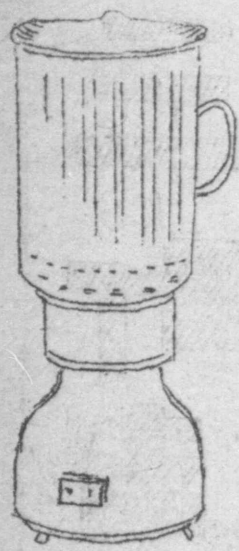
- ジョーゴテ アクア
- ジョーゴテ ビンニョ
- リコレエーラ
- サラテイラ
- ジョーゴテ フルッタ
- ジョーゴテ サラダ
- フルテイラ
- ビスコイテイラ

皮製品

- シンタ各種
- カリテイル
- ホーソラ

其他最新流行ピレックス各種

- シンゼイラ
- アバジュ
- 御茶菓子盒(木製)
- バンネージャ各種
- リキジスカドール(電力用)



BAZAR KING

来る12月20日より夜間営業

何卒御来店下さい
御待ち申上げます

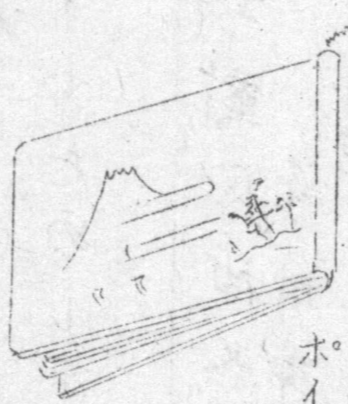
バザールキング
 アネマールネバロス街



若い御方には
日本製レッキヤホルン

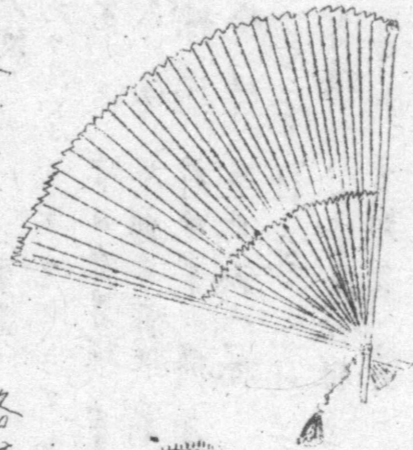


アルバム各種

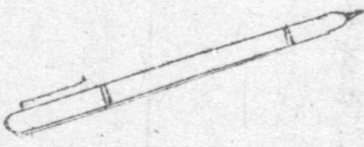


レコルトツソン
レンスランサ

ポイジア

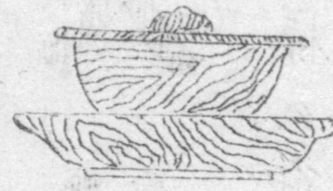


各種フルカ
萬年筆



生花用
スハイ

バナタン
テゾウロ



開業五周年を迎えまして

平素の御愛顧に酬ゆるため
 確實なる品物を取揃え
 薄利多賣にて御提供申上げます

三軒連合大賞出し

當りくじが多いので大好評！大評判！

抽籤所

賞品陳列所

バストス商業會計事務所の下



又もや
大当り

大ハシジウ

御客様の御要望に應えて

連日開要票致して居ります

さアほつ〜大物があたり始める頃！

七時〜さまごし〜幸福をおためし下さい

バスト聯合青年団募集 文化作文成績発表

- | | | | |
|--------|--------------|--------|--------|
| 一等 98点 | 不思議な蝶々 | ウニオンII | 池田 招子 |
| 二等 96点 | 4H講習会 断想 | ウニオンII | 湯原 温子 |
| 三等 95点 | 4H講習会 感想 | ウニオンII | 中島 正昭 |
| 三等 95点 | 4H講習会 行きて | ウニオンII | 漢 多磨子 |
| 佳作 90点 | 蛇の子 | アルト | 小野田 敏子 |
| 90 | 菊 | ウニオンII | 湯原 省吾 |
| 86点 | 人間を愛する者 | ウニオンII | 戸末 ルイ |
| 85点 | 協同の力 | アルト | 戸田 洋子 |
| 85点 | 4H講習会を受生 | ウニオンII | 山崎 悦子 |
| 85点 | 月見草 | ウニオンII | 木口 法子 |
- 次点八十点か六名 スーパー工浮田文子、スロリアイ
大野清香、スロリアイ 篠崎 祐子、サウネ木口冬男
サウネ中島正昭 スロリアイ 金川美津枝

今度日数が少。たが質日前因より遠か
に磨かれて居りました。不思議に女子の
方に入選が多く地味的にはサウネ氏が在
倒的に優秀でした。八十点以下の方々作
品はここが悪いが知り度いでしょう。折リ
を見て其の筆を片話し致しませう(選考)

望 靈 良 神 又へ 寄 附 御 礼

- 大政市外牧方に総合学院(聖母マリア学院)建
築の爲め寄附行脚をしようモレイラ神又が牧方
市長並総領事館の添書をもって訪問された
のでアッパア致しました。(重通)
- 寄附を頂いたのは左の方々からであります。
- | | |
|------------|-----------------|
| 谷 日 章 様 | 織田守男様、重道永栄様 |
| 水 馬 久 様 | 太郎田衛様、前山義雄様 |
| 依々木久輔様 | 前田幸一様、西 徹 様 |
| 古日義格様 | 西川誠一様 |
| 以上各百針宛 | 小計 一〇〇〇 |
| 畑中仙太郎様 | バストス産組様 山中陽之助様 |
| 以上各式 | 百針宛 小計 六〇〇 |
| フラ杨 様 | バンテラントス様 小沢元明様 |
| 畠田裕 様 | 以上各五百針宛 小計 二〇〇〇 |
| 三野善一様 | 以上五十針 一〇〇 |
| 森田直輔様 | シネマまで入場料 |
| 合計 四、六七九針也 | 八七九一 |

混血孤児の話もし少し。 樹木柳程哥
蟻の話、癩鶏と病鶏、などの記事
正月号へ廻します
作者の方で送承下さい

謹告

去る十二月九日ウニオン工区に突發した不慮の事件に於て各位より絶大なる御配慮と御いたしことに對し、兩家より其の報恩及香奠返しの意を以て、当日本人会を通じて左の金員を寄託されました。茲に御礼を兼ね謹告いたします。

幼稚園へ 遊戯施設費として
各巻コント宛 計ニコントス
小学校のカイシヤ・ホールへ
各巻コント宛 計ニコントス
イカレージヤ建設基金へ
各巻コント 計ニコントス

一九五四年十二月十四日
バストス連合 日本人會
三鼓 梅 又 様
小倉一三男 様

ライバンのサンクラス

オメガとチソットの腕時計

贈物に恰よいのめさまし
レスペクタドール

高田時計店

平素の御引立てに
酬いんが為め

上等の書棚一棹

エビス會の福引へ

特別賞品として

寄贈さしていただきました
どうぞ幸運を引さあてられますよう。

御心安い方にはごなたにも

福引券進呈いたします
どうぞ御立より下さい

あ正月には新らしい家具で

スワルカロツハ 棚
茶たんす
たんす
メーザ
食器具戸棚

等の御調製は

大阪屋へ御用命

(シネマ館前)

御注文承る丈でも(品物は未奉)
福引券は勿論さし上げます

バストスに図書館設立

小林・西・春日等の青年インテリ層の發議でバストスに図書館が出来ることとなり来る十二月二十日午時四時イナクラウソンを挙行する。同日は連邦議員ウリセス・ギマランセスが来殖されるが同氏は有名な図書館建設家である。イナクラウソンには一般の方も是非参列されたいとの事。会場は旧ソロカバナ・エスタツソン。

癡鶏會社

カミニオン配達日

毎週 月曜日 フアル・ウニオン工区

火曜日 サワテ

水曜日 スロリアエ、アルト

木曜日 フロクレスソ、カスカツタ

金曜日 シマカラ、エスペラサ

病鶏を 出荷しない様 致します

あめでた
市内藤元貞生氏長男晴(あきと)君は、お母て東ひの子嬢と婚約中であつた。ひろ子さんは東利徳氏の四女、ピトリオ君の妹で才媛の譽れ高き嬢人である。御兩人は機常孝中次郎長の媒酌で来る十二月廿三日式を挙行し、さ池田おつたで盛大な披露宴を催すとの事。パラベニス

シネマ御案内

ナタール 廿四日 夜八時より
廿五日

乙女の秘密

あ正月興行

二日、三日、四日
夜八時より

三等重役

ユカイな腹の底から
笑へるシネマ

シネ・パンティランテス

御家族がれで御出かけ下さい

謹告

「エビス」會の大賣出しは賞品を揃えて陳列を開始いたしました。皆様御賞になって欲しいと思はれる品物を御引当て下さい。

「エビス」の神様は貴家の幸福を御もちして居ります。

「エビス」會 連合

歳末大賣出し

十二月三十一日まで



福引場所 奥田齒科院前のサロン

| | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|----------|-------|------|-------|--------|-------|--------|
| 古田寫真館 | 古田製菓 | 本田バール | 宇越バザール | 西川薬局 | 坂垣薬局 | ペルマネンテ島本 | 島本寫真館 | 重道商店 | キタンタ古 | 湯井商店 | バール西野 | 大阪屋家具所 |
| 福森家具店 | 宮崎寫真館 | 太郎田商店 | 梶田商店 | 森バザール | 戸田美容院 | 前田呉服店 | 藤原金物店 | 植木商店 | 杉呉服店 | 小茂田呉服店 | バール水口 | |

特等 フォゴンスリップスは最近大評判の逸品で、家庭向高級品と推称されて居ります。

PREMIO 賞品 PREMIO

| | | | |
|-------|-----------------|--------------|--|
| 特等 | 特等の抽籤方法 | 特等抽籤候補賞 | 八本を引当てた方に、正月に日を指定し、八名の方に再抽籤を願ひ(特等入賞者)を決定します。他の七名の方には残念賞を差上げます。 |
| 壹等 | 客室用特製メーカ | 椅子六脚附 | 二本 |
| 貳等 | 上等タンス | | 二本 |
| 參等 | 上等クリスタレィラ | | 二本 |
| 肆等 | カ右一用ジョーグ | 九等 トラベッサ | 二百本 |
| 伍等 | カ右一用ジョーグ | 十等 サボネツテ一個宛 | 五百本 |
| 陸等 | 日本製 茶器 | 大当り品ハ、うちわ一本宛 | 一千本 |
| 七等 | フルルテイラ (ガラス製) | 追加賞 マカロシ一本宛 | 五十本 |
| 八等 | サボネツテ | | |
| 九等 | コホネツテ | | |
| 特賞として | 山中家具店(大坂屋)賞書棚一棹 | 提供されました | |

(同店へ御礼を兼ね、皆様に御しらせ申上げます)

愈々大賣出しは高潮に達しました。皆様の御来店を加盟店一同御まちして居ります。

